

番 号	22請願第2号 (即 決)
受理年月日	平成22年8月30日
件 名	対面朗読に係る予算の増額を求めることについて
提 出 者	三鷹市在住 高橋 侑子
紹 介 議 員	大城 美幸
要 旨	
<p>〔請願要旨〕</p> <p>日ごろから三鷹の市政において、私たち市民にとって住みよいまちづくりのため尽力されていることに心から感謝と敬意を表するものです。</p> <p>さて、私は、中途障がい者で、しかも目がだんだん見えなくなってきており、今までできていたことが徐々にできなくなり、障がいを否定しようにも受け入れざるを得ない状況に追い込まれています。目が見えなくなった私にとって対面朗読は、唯一の生きがいであり、他者と結びつく機会でもあり、また、読んでいただく本の世界に引き込まれることで自分の生き方を考えさせられる場でもあります。一日の中で、人間として生きている実感を味わい充実した時でもあります。このサービスが目が見えない人にもっと知られば利用者もますますふえてくると思います。</p> <p>実際、ことし、途中で一人、利用がふえたために、私の利用していた日数が削られてしまいました。視力障がい者の生きがいでもある対面朗読を希望する人が、全員希望どおりにサービスが受けられるよう新年度予算において予算の増額をするよう強く要望します。</p> <p>〔要望事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対面朗読に係る予算の増額をしてください。 2 対面朗読を希望する人が希望どおりに、サービスを受けられるようにしてください。 	